

い  
こ  
じ

Vol.22

2012年9月発行号  
ご自由にお持ち下さい

地域医療のかけはし  
となることを願って

Contents

- P2 内科(消化器)紹介  
P3 放射線科紹介  
P4 5階東病棟へ行ってみよう!  
P5 肩こりは国民病  
P6 選定療養費のお知らせ  
P7 ●新任 Dr 紹介  
●被ばく医療訓練を実施しました  
P8 外来診療日程案内



社会福祉法人  
恩賜財団 済生会川内病院



内科(消化器)

# 消化器内科のご紹介

**前田 拓郎** (まえだ たくろう)  
 済生会川内病院内科部長



## はじめに

平成24年4月より内科(消化器内科)の常勤医は、青崎院長、前田、鉾之原、矢野、井上の5名の診療体制になりました(4名は鹿児島大学消化器内科から派遣)。これに非常勤医師3名が加わり、充実した診療体制が整っております。川薩地域の中核病院として皆様のお役に立てるよう、一生懸命頑張りたいと思っておりますのでどうかよろしくお願い致します。

## 消化器内科の病気について

消化器内科では、食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・胆嚢・膵臓の臓器を扱っており、逆流性食道炎、胃炎、腸炎、胃・十二指腸潰瘍、クローン病、潰瘍性大腸炎、大腸ポリープ、胆石症、膵炎、消化器がん等の病気に対して、診断・治療を行っております。緊急処置を必要とする急性の病気から、定期的な診療が必要な慢性の病気まで、幅広く対応する医療を心がけています。

## 消化器内科の検査について

消化器内科の検査としてまず思いつくのは、胃カメラ(上部消化管内視鏡検査)と、大腸カメラ(下部消化管内視鏡検査)と思われます。上部消化管内視鏡検査については、人間ドック、有症状に対する精査、検診後の2次精査等で行いますが、昨今の内視鏡機器、診断技術、治療に関しての進歩はめざましいものがあります。当院でも最新の内

視鏡機器を用いて、拡大内視鏡+NB I(Narrow Band Imaging: 狭帯域光観察)を行い、がんの早期発見に取り組んでいます。治療に関しては、早期発見であれば内視鏡で治療できる可能性もあります。またピロリ菌に伴う胃・十二指腸潰瘍は、ピロリ菌を排除することにより潰瘍の発生、再発を抑えることができます。潰瘍を伴わないピロリ除菌は、自費診療になりますが、除菌治療に対して相談がある場合は、内科(消化器内科)外来でお尋ねいただければと思います。下部消化管内視鏡検査については、はじめて行われる方は、検診の便潜血陽性の患者様が多いかと思われます。便潜血検査が陰性の場合でも、大腸ポリープ、大腸がんを認めることはありますので、40歳以上で一度も検査を行ったことがない方は、一度検査を受けられることをお勧めします。切除可能な大腸ポリープを発見した場合、同時に切除も可能です。その他に、消化管造影検査、腹部エコー(超音波検査)、胆膵内視鏡及び放射線科の精度の高い画像検査(CT・MRI)と併せて、適切な診断・治療を行っています。また平成24年3月からは新たに、超音波内視鏡専用機

## 診療について

適切な検査、診断を行ったうえで、個々の患者様の状況に合ったガイドラインに準じる治療が行えるように心がけています。治療方針に悩む場合は、外科医、放射線治療専門医とカンファレンスを行い、最適な治療が行えるように、また当院で治療困難な場合は、鹿児島大学消化器内科をはじめ、鹿児島市内の主要病院とも密な連携をとり、患者様に満足いただける治療が行えるように体制を整えています。

## おわりに

定期的な消化器検査を行うことによりがんを早期に発見することで、内視鏡・外科・放射線治療とも非常に治療が行いやすくなり、治癒率も高くなります。40歳以上で検査を行ったことがない方は、是非一度検査を受けられることをお勧めします。

(GF-UCT260) + 超音波プローブも加わり、胆膵疾患の精査、がんの深達度診断、粘膜下腫瘍等のEUS-FNA(超音



超音波内視鏡専用機 (GF-UCT260)



左上から：井上医師・矢野医師・青崎院長  
 左下から：前田医師・鉾之原医師





## 放射線科

## 放射線科のご紹介

南立 亮 (なんだて とおる)  
済生会川内病院放射線科画像診断部長

## はじめに

数ある診療科のなかで、放射線科はその名称からは業務内容が分かりにくい診療科の一つと思われます。そこでまずは、放射線科の業務内容を当院での現状を含めて紹介します。業務内容は大きく画像診断、放射線治療、I・V・Rの3つに分けられます。

まず画像診断とは、患者さんが受けられた画像検査(CT・MRI・RIなど)から病気を探し出し、検査を依頼された主治医に文書で報告する仕事です。特に最近の画像機器の進歩は著しく、一回の検査での情報量も膨大となってきました。我々放射線科医にとっても、情報量の多さに短時間での診断が難しくなっており、主治医の先生にとっても、忙しい診療の合間に画像から診断することとは、大変な作業になってきていると思われまます。しかし患者さんにとって、画像検査は大事な検査の一つであり、画像所見の見落としは、一大事にならないとも限りません。そこで主治医による診断に加え、主治医とは独立した見方から放射線科医が診断を行うことにより、見落としのない正確な診断を下すことができるようになります。

放射線治療は、放射線治療装置を用いたがんの治療を行います。近年、侵襲性の低いがん治療法として、これまで以上に注目を集めています。当科でも入院患者を受け持ち、外来での診察・治療も行っています。放射線科業務の中心的な役

割を担っています。

I・V・Rは各種画像検査を利用し、カテテルと呼ばれる細い管や針を用いて、外科手術なしに小さな傷のみで病気を治療する方法です。この治療法は放射線科に特有のものではなく、当院でも肝臓科、循環器内科、腎臓内科でも行っています。当院の放射線科では、止血目的の動脈塞栓術、膀胱の動注療法、肝動脈化学塞栓療法などを行っています。

以上が放射線科医の主な業務内容ですが、この中でも画像診断は全ての放射線科医が共通して行う仕事です。今回は日常の画像診断(読影)について当院での例を中心に紹介いたします。

## 当院での画像診断

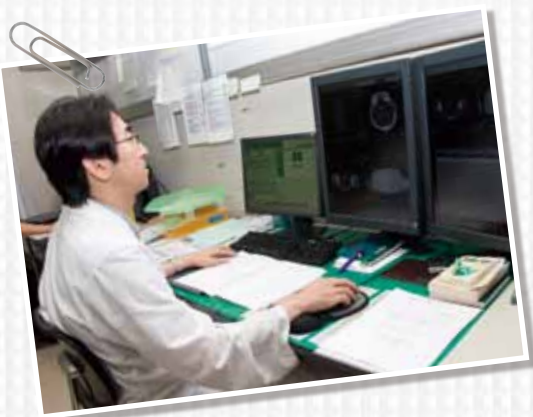
## (読影)の流れ

まず院内外の主治医の先生から、CT・MRI・RIなどの検査依頼を受けます。検査の目的に応じて撮像指示を出

しますが、これは放射線科医の仕事です。特に造影剤を使用した検査の場合などは、目的とする臓器や病気に合わせた検査をしないと、病気を検出できないこともあるので、主治医からの検査依頼書を確認して、適切な指示を出す必要があります。次に撮像指示にもとづき、診療放射線技師に撮像してもらいます。患者さんの状態によっては撮像自体が難しいのですが、良質の画像を撮像してもらうことは、後の読影のために重要となることができます。そして出来上がった画像を読

影するのですが、現在はフィルムで読影することはほとんどなくなり、専用のモニターを使用して読影をしています。撮像された全ての画像をみて、必要があれば過去の画像、他の画像検査とも比較します。最後に読影した結果を画像診断報告書にワープロで記載します。その他の方法として当院では、デイクテイションシステムも導入しています。これは読影所見の音声を専用の録音機に録音し、トランスクリイバー(読影医が録音した所見や診断を入力・作成する方)に所見を入力してもらうシステムです。

画像診断は直接患者さんとは接することとはなく、画像から診療に関わる領域ですが、我々の読影が患者さんの診療に少しでも貢献できるように、画像の1スライスずつ丁寧に読影し、なおかつ患者さんの状態によっては、迅速に読影レポートを作成し主治医に報告できるように心掛けています。



Welcome!! 5F Higashi-byoto

# 5階東病棟へ 行ってみよう!!

患者様に寄り添う  
看護を大切に  
日々がんばっています!!



病棟師長 内田 智子  
Tomoko Uchida

皆さんこんにちは!

当病棟は、主に肝臓、消化器の患者さんが入院されている定床43の内科病棟です。

心臓、腎臓疾患や高齢者の肺炎などの患者さんも入院しています。

スタッフは内科医師12名(肝臓:2名 消化器:4名 その他の専門医:6名)、看護師22名、看護補助者2名です。

入院患者は年間742名、1日平均在院人数36名、病床利用率は82.7%、在院日数は17日です。

肝臓内科は全体の33%を占め、腹部血管造影、肝動脈塞栓術、動脈化学療法、ラジオ波治療、インターフェロン治療などが行われています。治療のため1年間に2~3回入退院を繰り返す患者さんがいらっしゃるのが特徴です。

消化器内科は全体の28.3%を占めます。胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP(内視鏡的逆行性膵胆管造影)等、検査目的の患者さんが多く入院されます。患者さんが、安全・安楽に検査を受けられるよう医師と協力し、日々努力しています。

また終末期の患者さんも多く、緩和医療チームと協力して、患者さんや家族により添える看護を目指しています。

時に優しく、そして厳しく、  
そんな寛大なスタッフに囲まれ、  
鍛えられて早4年目。常に気合いが  
入ります。今後も気合いでいきます!

スタッフより

いつも患者さんに優しく話しかけている宮脇君。これからも気合いで頑張って期待しています。

看護師  
宮脇 文隆 さん



消化器内科の  
カンファレンス中です!

高齢化社会は医療の現場にも影響しています。高齢者や認知症のある患者さんの入院も増加傾向にあります。認知症のある患者さんは、私たちが予期せぬ行動をされヒヤリとすることが多々あります。しかし、人生の先輩の笑顔に癒され、元気をもらっています。

肝臓・消化器の医師は今年4月に交代されたばかりです。病棟の印象を問うと「賑やかな病棟!」という返事でした。

今後も、病棟キャッチフレーズ「**今日も元気でがんばろう!**」の下、チームワークを大事にしながら、患者さんに対し安全で速やかな対応を実施していきたいと思ひます。



# 肩こりは、国民病!?

リハビリテーション室 作業療法士 吉満 愛

頸の痛み、肩こりは様々な原因によって起こりますが、『姿勢が悪い』、『精神的ストレス』、『運動不足』が3大原因と言われています。その他の原因には怪我や高血圧、骨や椎間板の老化、目の調節障害あるいは視力調節障害などが挙げられます。頭を支えているのは頸椎であり、頸から肩へとつながる筋肉が頭や筋肉を動かしています。頸が前へ傾くと筋肉が緊張して血流を妨げ、神経を刺激して、さらに筋肉の緊張を引き起こしてしまいます。肩こりを治すには、血液の循環をよくし、老廃物をためないことがポイントです。

ストレスや運動不足とも深い関連がありますので、まずストレスを解消し、次いで普段あまり使っていない筋肉を使うために、また不自然な姿勢を治すために、肩こり体操を行い、肩の血行をよくして解消、予防することが大切です。

## 肩こり体操の実施に関する注意事項

- 実施する場合は、必ず主治医と相談してください。
- 急性期の五十肩などの人は、行わないでください。
- 一度に長時間行うよりも1回5～10分間、1日2～3回行う方が効果的です。また、一度に全部行わず、2つか3つの体操を組み合わせて行いましょう。
- 無理のない範囲でゆっくり行ってください。
- 入浴などで肩を温めてから行うとより効果的です。
- 痛みが強くなる場合には止めましょう。

## 頸の痛み・肩こりの原因

- 1.姿勢が悪い
- 2.精神的ストレス
- 3.運動不足

3大原因

～肩こり発生のメカニズム～



## 肩こり体操 ～肩こり解消・予防法～

### 基本姿勢

- 1 背筋を伸ばし、あごを引いて肩の力を抜く
- 2 頸を前後にゆっくりと倒す
- 3 頸を左右にゆっくりと倒す
- 4 両腕を体につけ、肩を上へ挙げ、次いで肩をおろす
- 5 両手をお腹の前で組み、次いで側方へ広げる
- 6 肘を伸ばしたまま、できるだけ高く挙げる
- 7 肩を前方から後方へ、次いで後方から前方に回す
- 8 両手を後ろで組み腕を伸ばしたまま、後方へ挙げる

**頸の痛みや肩こりの解消・予防には、日常の注意と心がけが大切!!**

- ・様々な姿勢において、頭が前後左右に傾いた場合など、頸には負担となりますので、正しい姿勢を心がけてください。
- ・腰に負担のかかる姿勢や動作は、頸にとっても負担の強い姿勢となりますので、注意しましょう。
- ・長時間同じ姿勢をとる場合には、仕事の合間に頸や肩を動かしてください。
- ・頸に疲れを感じたら、横になり、頭の重さを取り除いてあげましょう。
- ・ストレスや睡眠不足も痛みや肩こりの原因となりますので、規則的な休息、入浴、十分な睡眠でリラックスしましょう。

お知らせ

## 初診時の選定療養費のお知らせ

初診時の選定療養費とは、「初期の診療は地域の医院・診療所などで、高度・専門医療は病院（200床以上）で行う」という医療機関の機能分担の推進を目的として厚生労働省により制定された制度です。

**平成24年8月1日**より当院では、**内科・外科**において、他の保険医療機関等からの紹介状をお持ちでない初診の方は、初診料の他に選定療養費として**1,050円(税込)**をお支払いいただくこととなりました。

当院は、地域の中核病院として救急医療、高度専門医療に専念する役割をになっています。しかし、本来の役割である輪番医を含めた救急医療、高度専門医療、重症患者さんの診療に加え、外来に風邪や胃腸炎などの軽症の初診患者さんが多数受診されますと、中核病院としての役割に専念できない状況です。今後、当院は国の指針に従い中核病院と開業医がそれぞれの長を活かし、お互いの機能と役割を分担し、「地域全体で地域医療を支えよう」という趣旨のもとに、初診時の選定療養費を採用させていただきます。

なお、当院、地域医療機関の諸事情を考慮し、**内科・外科**に限定し、実施いたします。

### ◎初診時の選定療養費をご負担いただく必要のない方

- ・他院からの紹介状（診療情報提供書）をお持ちの方
  - ・緊急の場合（救急車での搬送）
  - ・現在、当院にて継続して治療中で、さらに他科で診察を受けようとされる方
  - ・生活保護法の医療扶助の対象となっている方
  - ・特定の疾患や障害などで、各種の公費負担を受給されている方
- ※福祉医療費支給制度受給の方は、ご負担いただきません。

当院では、地域の医療機関と協力して地域医療の向上に努めております。「紹介状（診療情報提供書）」のない方の診療も受け入れておりますが、できるだけ開業医を受診し、必要に応じ「紹介状（診療情報提供書）」を書いていただき、当院を受診されることをお勧めします。

地域医療連携を推進し、地域医療の充実のために、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※ご不明な点は **済生会川内病院 医事管理課** までお問い合わせ下さい。

Tel(0996) 23-5221(内線 3103)

# 新任Dr.紹介

7月より新しく当院の医師となった  
5名をご紹介します。

1. 出身地 2. 前赴任地 3. 趣味・特技 4. 一言コメント

**小児科**

**川村 順平** かわむら じゅんぺい

1. 霧島市  
2. 鹿児島大学病院  
3. テニス  
4. 慣れないことも多いですが、一生懸命、そして楽しく働こうと思います。人と話すのも大好きです。宜しくお願い致します。

**小児科**

**古城 圭馴美** こじょう かなみ

1. 兵庫県  
2. 出水総合医療センター  
3. 音楽  
4. 未熟者ですが、川内の子ども達のために少しでもお役に立てればと思います。よろしくお願いします。

**皮膚科部長**

**坂口 郁代** さかぐち いくよ

1. 日置市  
2. 鹿児島大学病院  
3. なし  
4. 約2年ぶりの赴任となりました。至らない点もあるかと思いますが、地域医療に貢献出来るよう頑張ります。よろしくお願いします。

**外科**

**大久保 啓史** おおくぼ けいし

1. 鹿児島市  
2. 宮崎江南病院  
3. 映画鑑賞、娘と遊ぶ事。  
4. 3ヶ月と短い期間ですが、楽しく頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

**放射線科部長**

**南立 享** なんだて とおる

1. 福岡県  
2. 鹿児島市医師会病院  
3. 犬と遊ぶこと  
4. 地域医療に貢献出来るよう一生懸命頑張ります。宜しくお願い致します。



## 被ばく医療訓練を実施しました

放射線部 顧問  
辛 憲哲 (しん けんてつ)

7月14日(土)九州電力川内原子力発電所内にて、2名の放射能汚染を伴った創傷患者が発生したとの想定で、院内の被ばく医療施設に於いて、医療及び除染訓練を実施しました。参加者は原電職員、消防署救急隊員、当院職員、県及び市の職員他、第3次被ばく医療機関である広島大学の専門員2名を含め、総勢約40名に及びました。

午前9時の原電からの入報に始まり、メンバーの招集、防護服の着用、1人目の患者の受入れ、



搬入された患者の容態チェックをしているところです。

容態のチェック、汚染の測定、X線撮影を含む医療処置及び除染を実施しました。途中15分遅れで2人目の患者も到着し、ほぼ同様の処置を行いました。患者処置終了後にスタッフの汚染の有無の検査、作業エリアの検査を実施しメインプログラムを終了。

引き続き行われたミーティングでは、有益な意見が相次いで出されました。これらを今後の訓練において考慮することとし、全日程を終了しました。



# 診察日程案内

平成24年9月現在

■ は再診日です。

		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	糖尿病	西牟田 浩		倉野 美穂子				馬場 泰忠		久保田 敬子			
	消化器	鉾之原 基				青崎 眞一郎		前田 拓郎					
	肝臓	馬渡 誠一		呉建 最勝寺 晶子		呉建 樋脇 卓也		呉建 最勝寺 晶子		森内 昭博			
	循環器	福岡 嘉弘		福岡 嘉弘 網屋 俊		網屋 俊		福岡 嘉弘		網屋 俊			
	ペースメーカー外来 (第3・4金曜)									福岡 嘉弘			
	腎臓	濱田 富志夫		福元 まゆみ		古城 卓真		濱田 富志夫 (紹介のみ)		福元 まゆみ			
	呼吸器	※末次 隆行		※上村 和代				副島 賢忠					
一般内科	古城 卓真 矢野 弘樹		井上 和彦		最勝寺 晶子 担当医		矢野 弘樹		井上 和彦 担当医				
外科	貴島 文雄 (完全予約制)	手術・検査		手術日		柳 政行		手術・検査		手術日		貴島 文雄	手術・検査
	ストーマ外来 (第2水曜午後)					柳 政行							
小児外科	(一般外科手術)		(一般外科手術)	池江 隆正 (13-16時)		(一般外科手術)		(一般外科手術)	池江 隆正 (13-16時)		手術日		池江 隆正 (第2・4土曜) (9時30分-11時)
整形外科	村角 恭一 八尋 雄平	病棟回診		手術日		村角 恭一 八尋 雄平	検査		手術日		村角 恭一 八尋 雄平	手術・検査	術後回診
小児科	田中 主美 吉川 英樹	予防接種 受付11-12時, 14-15時	田中 主美 吉川 英樹	予防接種 受付11-12時, 14-15時 1ヶ月, 11-13ヶ月健診 受付13-14時	田中 主美 吉川 英樹	予防接種 受付11-12時, 14-15時 発達外来 受付14-15時	吉川 英樹・川浪 佳子 アレルギー外来 (第2・4木曜のみ) 受付9時半-11時		田中 主美 吉川 英樹	循環器 受付13-15時 予防接種 受付14-15時 (第2金曜のみ) 受付14時半-15時半		田中 主美 吉川 英樹	
泌尿器科	堂満 洋司 (紹介のみ)	手術	鶴田 雅史		堂満 洋司		鶴田 雅史		堂満 洋司	手術		手術	
産婦人科	産科 比良 高明 婦人科 野口 慎一	病棟回診	野口 慎一 比良 高明	1ヶ月健診 予約検査	岩川 富貴子 野口 慎一	手術	野口 慎一 岩川 富貴子	予約検査	比良 高明 岩川 富貴子	手術		岩川 富貴子 比良 高明	
眼科	非常勤医師		非常勤医師		木村 勝哲		木村 勝哲		木村 勝哲				
皮膚科	坂口 郁代	手術	坂口 郁代	予約診察	坂口 郁代	病棟	坂口 郁代	手術	手術	予約診察 病棟回診			
放射線科	南立 亮	血管造影	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	放射線治療	上山 友子	放射線治療	小野原 信一	放射線治療		小野原 又は南立 又は上山	
緩和ケア外来									14-16時 柳 政行 ※(身体症状緩和・毎週) 網谷 東方 (精神症状緩和・第1・3金曜)				
バインクリニック (第1・3・5土曜)													園田 拓郎

- ※呼吸器外来は月曜日又は火曜日と木曜日の診察になります。詳しくはお問い合わせ下さい。
- 予約が必要な診療科・検査がございます。恐れ入りますが事前にお問い合わせ下さい。
  - 担当医師は学会出張などにより不在・変更が生じることがあります。
  - がんに関する相談をがん相談支援センターで行っております。(9時～16時)

予約・お問い合わせは  
TEL (0996) 23-5221 (代表) 予約電話 月～金曜日  
内科: 14時～17時 その他: 13時～17時

## 理念

私達は、保健・医療・福祉を通じて地域社会に貢献します。

## 基本方針

1. 患者様の尊厳と権利を常に尊重します。
2. 医療情報の開示と懇切な説明による開かれた医療を実現します。
3. 私達は常に研鑽し、患者様本意の、良質で安全な医療を目指します。
4. 公的の中核病院として、地域の先生方と協力し、救急医療と高度の専門医療の推進に努めます。
5. 職員との協働と信頼によって、チーム医療の充実に努め、働きがいのある職場を作ります。

## 患者様の権利と責務について

### 権利について

1. 誰でも、個人の人格や価値観を尊重され、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 病院や治療について十分説明を受けた上で、検査や治療方法など、自分の意志で決める権利があります。
3. 診療の過程で得られた個人の情報等 (プライバシー) は守られる権利があります。

### 責務について

1. 自分自身の健康に関する情報を、出来るだけ正確に医師や看護師に伝えて下さい。
2. 医療に関する説明を受けても十分理解できない場合は、わかるまで質問して下さい。
3. 病院の規則を守り、他の患者様の迷惑にならないようご配慮下さい。

## 病院案内



社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院

〒895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町2番46号  
TEL (0996) 23-5221 FAX (0996) 23-9797  
<http://www14.synapse.ne.jp/saiseikaisen/>